

令和5年度 いのちの授業 事例集（高校）【特別活動】

掲載数

97

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	高3	特別活動	3年生性教育講演会	「自分と相手を大切にするって？」をテーマに、産婦人科の医師から、主に妊娠出産、性感染症、避妊、緊急避妊、LGBTQ、デートDV、月経痛、産婦人科医として生徒に伝えたこと等についてご講演していただいた。本生徒は不登校だった生徒も多いため今までの復習も兼ねた内容にしていただいた。生徒が性に関する指導の内容を再確認できた。生徒の感想でも、授業で聞いた内容より詳しい内容を知ることが出来た。これからの生活に活かしていきたいという感想を持つ生徒が多くいた。	グレイス杉山クリニック SHIBUYA 医院長
2 川崎市	高1	特別活動	薬物乱用防止教育	主に身近なタバコについての危険性を講演していただいた。依存性について、国内だけでなく海外のCMやメッセージ性の強い映像・リアルな資料を沢山紹介していただいた。これだけタバコが危ないといわれているが規制の緩いタバコ産業の背景、タバコを作っている子ども達のこと、普段では知ることができないような話もしていただき、生徒達も熱心に聴いており、危機意識が高まった様子であった。講演終了後、自分の家族にも内容を伝えたいという感想が多かった。	とげぬき地蔵尊 高岩寺 住職/医師
3 川崎市	高3	特別活動	SOSを出すことの大切さ	家族との関係や、クラス、部活動内のトラブルが精神的な負担となって、登校しなくなったり体調をくずしたりするケースが散見される。小さな諍いや言い合いであっても心の中でしこりとなって気持ちが傷つけられることがある。そんな時にどう対応するかを考える授業を行った。 ①気持ちが傷ついた、重荷になってしこりが消えなかった経験を思い出す。どうやって乗り越えたかを思い出す。 ②自分の好きなこと、得意なこと、大切にしていることなどを書き出し、それが自分を支えているエネルギーであることに気づかせる。 ③SOSを出すとしたら、誰がいるか、どんな方法で伝えるかを書き出す。 ④上記をできる範囲で共有し、心の重荷を軽くする方法があることを確認する。	LHRとして実施、「SOSの出し方・受け止め方教室」資料
4 川崎市	高複合	特別活動	交通安全教室	交通ルールや交通事故防止について話を聞いた。自転車乗車時にヘルメットの着用が努力義務になったことや、登下校中の安全確認や自分の身を守ることの大切さについても動画を交え説明してもらった。	講師は警察署の職員 学年は1～4年の全学年

5	川崎市	高3	特別活動	性教育 「今知っておきたい性のこと」	多様な性のあり方や性感染症の予防、デートDVについてなどについて話を聞いた。「～らしさ」に振り回されず、相手の言葉を「聴く」、自分の感情を「話す」ことが大事という話に、共感する生徒もみられた。 地域見守り支援センターの方より、こころ、体、性に関することなど困った時の相談窓口についても話をしてもらった。	講師は大学の准教授 地域見守り支援センター保健師 相談窓口のパンフレット配布
6	川崎市	高複合	特別活動	防災訓練	関東地方北部において大地震が発生したことを想定し、緊急地震速報を受信した際の対応並びに大規模地震が発生した後の生徒の安全を確保するための対応、処置の確立及びその周知を図った。併せて、大地震が発生した場合における生徒の一斉下校の方法についての周知を図った。 さらに停電が起きた際、暗い中でどう対応すればよいかについて今後の訓練では検証していく。	
7	川崎市	高複合	特別活動	SOS出し方受け止め方教育	今年度より、共生共育の中に組み込まれた「SOS出し方受け止め方教育」について、生徒たちがどんなことについて「生きづらさ」を感じ、その悩みを誰に打ち明けることができる環境にあるのかを把握した。まずは無記名でアンケートを実施、集計結果を教員間で共有し、自己開示や自己肯定につながるようなプログラムを実施し人間関係形成につなげた。	
8	横須賀市	高複合	特別活動	高校生の心と性の多様性について	講師の先生をお呼びし、左記のテーマで講演を行った。性に関する科学的知識を習得させるとともに、広く人としての生き方を学ぶ人間教育を目的として実施した。特にLGBTQに関する話が中心となったが、生徒は大変関心を持ち、積極的に質問をするなど、大変有意義な講演会となった。	講師は、SHIPにじいろキャビンの星野 慎二様のお越しいただいた。
9	神奈川県	高1	特別活動	性に関する講演会	事前アンケートで生徒の興味関心が高かった「恋愛」「出産育児」「性感染症」などのテーマについてスライドや動画等の資料を用いて説明し、セクシュアリティは一人ひとり異なり、そのどれもが基本的人格の一部として尊重されること、他者のセクシュアリティも尊重すること、他者に触れる行為には同意が必要であること等を学習した。スマートフォンを用いた実験では、実際に人それぞれ恋愛関係において重視する項目が全く異なることを体験し、また身近な教員の出産育児の体験談を聞く機会も設けた。生徒の感想では、普段聞けないことを真面目に話してくれて有意義だったという声が多く聞かれた。	講師は、公立大学教育学部教授および本校の養護教諭 (参考資料) 国際セクシュアリティ教育ガイダンス(ユネスコ編 明石書店)
10	神奈川県	高複合	特別活動	DIG	生徒は東日本大震災に関する動画の視聴し、大震災では何が起こるのか、何をすべきかを学んだ。また、東日本大震災が起きた後の本校の写真を見て、職員から当時の様子を聞いた。その後、ファシリテーターの職員のアドバイスを聞きながら、学校周辺の地図を使って避難場所、食料や飲料水を確保できる場所、警察署や消防署の場所等の確認を行い、新聞紙で作ることができる簡易スリッパを実際に作った。どの生徒も積極的に取り組み、防災や減災に対する意識が高まったようだ。	学年：高1、高2 講師：本校職員 教材等：地震に関する動画、学校周辺の地図等

11	神奈川県	高1	特別活動	ライフスキル講座 (性教育)	湘南鎌倉総合病院から産婦人科を講師として招き、性教育を行った。主な内容は「妊娠と出産、避妊、性感染症、デートDV、困ったら守られる人権」である。生徒は生命誕生の仕組みの概要を学んだ後、男女交際のあり方、避妊の方法、性感染症の感染予防、望まぬ妊娠をした時の対応の方法等を学んだ。事前と事後にアンケートを実施したところ、全体として他者への思いやりの気持ちが高まっていた。	講師：産婦人科医師 教材等：講師が作成、持参したパワーポイントによるスライド
12	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	大地震が発生した際に生徒等の生命・身体的安全確保を図ること、また教職員・生徒の防災意識の向上を図るとともに、大地震の際に適切な対応がとれるよう日頃の備えを万全にすることを目的とし、震度6強の東海地震による校舎倒壊が発生し、また一部停電にもなったという想定で実施した。定時制課程である本校は暗い中でも冷静に行動し、適切に避難経路を確保して安全な場所に避難ができるよう教職員・生徒が取り組めるようにし、このような訓練を通して、まずは地震発生時に自分の命を守るための行動がとれるように意識を高められるようにした。	
13	神奈川県	高複合	特別活動	D I G 研修	災害発生時に安全な場所に速やかに避難できることを目的として実施した。 ハザードマップがどのようなものであるかを学び、ハザードマップを用いて学校周辺の危険な箇所や災害時に利用できる避難場所を確認した。また、自宅周辺などにそのような場所がどこにあるのか、日頃から観察する習慣を身につけさせ、自宅にいる時に災害が起きた際に自分の命を守る行動がとれるよう考えさせた。	
14	神奈川県	高複合	特別活動	性教育講演会 『性の学習を通して、いのちの大切さを考える』	性の学習を通して、いのちの大切さを考え、自分や相手の心と身体を大切にすることを意識について、ボランティアスタッフにより、身近な話題や経験談を話していただいた。パワーポイントを活用し、生徒の意識を高める内容であった。講演後の感想では大多数の生徒が役に立ったと回答し、自分や異性の体について理解し大切にしたいという回答が多かった。	NPO法人 ピルコン 講演を体育館で行い、終了後google formでアンケートの回答を行った。
15	神奈川県	高複合	特別活動	いじめ防止講演会 『いじめ防止の意識を高め、命について考える』	生徒一人ひとりが安全・安心でいられる学校にするために、いのちの授業の一環として、講演を聞くことでいじめのない学校を目指し、いじめ防止に対する生徒の意識を高めるということをテーマに、具体的な事例を挙げその都度弁護士の方に解説をしていただいた。身近な例を挙げることによって、いじめについて真剣に考えることが命の重要性を理解することにつながると学んだ。	NPO法人ストップいじめ！ナビ 弁護士 1,2年次はclassroomを活用し、3,4年次は武道場でDVDを解説を交えながら視聴した。
16	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教育 「安全な交通社会づくりに向けて」	交通事故被害者遺族の声や受刑者の手記をもとにした再現ドラマを視聴し、交通社会といのちの関わりについて理解した。また、スケアードストレイトを学校グラウンドで行い、自転車を走行している際の危険予測などを行い、いのちを大切にするために日常からできる行動について考えた。	○オリジナル教材 参考資料；交通安全教育映像「あの日に戻れたら…」(警視庁) ○スケアードストレイト 主催：株市会社ワイルド
17	神奈川県	高複合	特別活動	いのちの大切さを学ぶ教室	犯罪の被害者やその家族の置かれた状況等について知り、「命の大切さ」について考え、自分だけでなく他人の命も大切にすることを目的とし、またそれによって社会全体で犯罪被害者等を思いやり支える機運を醸成し、自らが加害者になってはいけないという規範意識を向上させた。	1.2年対象 3月実施予定

18	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	生徒・職員を対象として、災害発生時避難経路の確認し、迅速かつ安全な避難行動の確認、また災害発生時における生徒の行動確認と校内防災組織の再確認と防災意識を高めた。	全学年実施
19	神奈川県	高複合	特別活動	地震による火災発生を想定した避難訓練	避難訓練では、地震が発生してから停電及び火災が発生したことを想定して行われた。命を守る方法として、教師の指示に従うことや、シェイクアウトの重要性について学んだ。また、自分の命を守るだけでなく、周囲の助けに対しても手を差し伸べる助け合いについても学んだ。	高1, 2, 3, 4年
20	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育 「放水訓練」 「避難訓練」	学校で災害（地震）が発生したときの避難訓練を実施した。その後、震災発生時の状況等について改めて確認し、自分のいのちを守るためにすべきことをグループごとに考えた。まず自分のいのちを守る行動をとること、次に高校生として周りの人のいのちを守るためにどのように状況判断を行い、行動するかを考えた。	全校生徒対象
21	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止教室	映像資料を見た後にグループで話し合いを行い、薬物乱用の現状、心身への弊害、薬物の誘惑に対する対処法及びいのちの大切さについて考えた。	薬物乱用防止啓発映像【大麻の誘惑】警視庁公式チャンネル
22	神奈川県	高1	特別活動	性感染症予防	性感染症予防講話をオンラインで実施した。身近な性感染症の問題と、性感染症を予防するために気を付ける事の重要性を講話により知った。性感染症という題材を通して、自分も相手も大切にすることの意味を生徒が感じる事ができた。講話により「いのちを大切にしてほしい」というメッセージが伝わったと感じる生徒もいた。	講師：産婦人科医（筑波大学）
23	神奈川県	高2	特別活動	SSE(バウンダリー)	2学年LHRで実施した。本年度、サポートドックが導入され、プッシュ型面談が推進される一方、自殺者が増加傾向にあるなか、セルフディフェンスを学習する機会も重要と考え、バウンダリー(境界線)について知り、自他のバウンダリーに触れることをねらいとした。他者のバウンダリーに触れ、自分のバウンダリーとの差について考える活動を行った。	講師は本校教諭(研究推進委員 特別活動部門担当)
24	神奈川県	高2	特別活動	SSE(アサーション)	2学年LHRで実施した。前項で学習したこと(バウンダリー)をさらに発展させ、自他のバウンダリーを守る術として、アサーションについて学習し、実践した。生徒対象の事後アンケートには、色々な悩み事や疑問点について多くの声が寄せられた。生徒各々が自分を見つめ直す良い機会となった。	講師は袖本教諭(研究推進委員 特別活動部門担当)
25	神奈川県	高1	特別活動	性感染症・エイズ予防講演会	暑い時期であったため、教室でオンラインの形で講演会を実施した。講師による、性の決定と多様性、性感染症の種類と動向、検査と予防法、妊娠・避妊の講義の後、ワークショップ(水の交換で感染の広がり方を理解する)を行った。概ね、生徒は集中して参加しており、事後アンケートでも96%の生徒が、講演会の内容は参考になったと答えていた。また、正しい知識を得て、理解し、自分事としてとらえることができ、性に対する意識が変わったと答える生徒も6割を超えた。	講師は、NPO法人エイズネットワーク横浜の職員 資料として、性感染症についての説明冊子配付

26	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育 「シェイクアウトと避難訓練」	東海地震などの大規模地震への備えとして行われ、生徒の防災意識を高め、「命を守るための訓練」として位置づけ、全校生徒・教職員を対象に実施した。避難訓練を行うことでしか身につかない、災害に対応する行動を実践する機会となることを念頭において行った。一人一人が自分事として避難訓練を捉えることを重要視した。	
27	神奈川県	高1	特別活動	性教育講演会	対面による講演会を体育館で受講した。 内容は、思春期の性について正しい知識を持ちお互いを大切にする、望まない妊娠や性感染症の予防についてなどであった。 子宮頸ガンや性感染症、エイズについての理解を深め、自分や大切な人の身体や健康を考える貴重な機会になった。	昭和大学教授
28	神奈川県	高1	特別活動	食育講演会	オンライン講演会を教室のテレビで受講した。 内容は、生活習慣向上のための食育についての講演であった。「早寝・早起き・朝ごはん」をキャッチフレーズに、規則正しい生活習慣を確立することで、元気で強い身体を作り、ひいては充実した人生を送ることに繋がるということを学び、健康を考える貴重な機会になった。	公益財団法人ダノン健康栄養財団 管理栄養士
29	神奈川県	高1	特別活動	防災教育「地震からいのちを守る」	大地震が起きた後の行動について、「目黒巻き」という教材を用いて学習している。生徒は事前に、大地震が起きた後、自身はどのように行動し、また周囲ではどのようなことが起きるか、どのように身を守ればよいかといった点について、想像力を働かせ、また調べ学習を進めながら資料にまとめる。その後、お互いに成果物について発表し、講師から講評をいただいている。これまでの防災教育では考えの至らなかった細かな点にも、生徒は想像力を働かせて気づくことができている。 例年は上記の通り実施しているが、今年度は消防署職員の方の来校・講評は予定していない。	(近隣消防署職員)
30	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止教室	健康教育の一環として心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成をめざして、薬物乱用による心身への影響、依存症、疾病との関連、社会生活や家族への影響などについて理解させることにより、誘惑があったときに生徒が適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力を身につけることを目的とし、文部科学省作成の動画を視聴させた。また、アンケートに答えることで、振り返りも行った。	動画教材：文科省/nextchannelより 薬物乱用防止啓発資料（高校生用） 『未来があるから』『薬物はいけないの？』『なぜ、薬物を使ってしまったの』
31	神奈川県	高1	特別活動	「DIG（災害図上訓練）」	第1学年全クラスで本校周辺の災害図上訓練用の地図を用い、グループごとにDIGを実施した。本校周辺の危険箇所、帰宅の際に気を付けるべき場所、コンビニ・病院などの重要な施設の場所を確認し、全体で共有した。またそれらに基づき、災害時に負傷者がいた場合にどのようにして病院へ連れていくことが最善か、集団で帰宅する方法、学校で避難生活を送る場合に必要な物品やその調達方法などについてグループ討議を行い、全体で共有した。	1学年クラス担任・副担任 災害図上訓練用地図

32	神奈川県	高1	特別活動	避妊・性について	性教育講演会を実施し、外部講師の講話でエイズや新型コロナウイルス感染症、LGBTや避妊・性についてや人との関わり方、これからの人生において直面する課題について具体的に学び考えた。	NPO法人ピルコン 理事長 染谷明日香氏
33	神奈川県	高複合	特別活動	教育相談に関する講話	今年度より実施されている「かながわ子どもサポートドック」の実施状況等も踏まえ、SCやSSWによる教育相談に関わる講話を実施することを通して、心に悩みを抱えている生徒の心のケアをするための教育相談体制や相談窓口等について生徒に周知する機会とした。	SC及びSSWによる講話 2学期及び3学期の始業式に実施した。
34	神奈川県	高複合	特別活動	防災講話 「生かされているということ ～ 3.11を自分ごとにする～」	実際に東日本大震災を体験した職員から、被害の大きさや復興までの道のり、被災の経験を経て学んだこと等について話を聴くことで、防災意識を高めるとともに、これからの自分たちにできることは何かについて考えさせる機会とした。	本校職員による講話 1学年及び2学年を対象に実施した。
35	神奈川県	高1	特別活動	若年からの喫煙の危険性について	喫煙による心身への影響、依存症、疾病との関連、社会への影響などについて生徒に理解を促し、適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力を身につけさせた。 自身の健康と喫煙することによる周りの人への影響を具体的な数字や例を挙げて生徒に喫煙の危険性について深く認識をさせた。	外部講師による講義
36	神奈川県	高複合	特別活動	安全確保行動1-2-3	①1年次生は、各教室で正・副担任で「大師高校における津波のリスク」について考え、適切な行動について学習をした。資料として、川崎市発行の「津波ハザードマップ」を用いたDIG訓練をおこなった。 ②2年次以降は、各教室にて正・副担任で「地震に対する平時の備えと地震発生時の適切な行動」について学習をした。「備える。かわさき」を用いた地震に関する防災教育をおこなった。	複合学年： 高1、高2、高3 教材： 「津波ハザードマップ」 2019年3月川崎市発行 「備える。かわさき」 から、震災対策編1、9、 10を印刷をして配付した。
37	神奈川県	高複合	特別活動	SDGs講演会 「ペットボトルを分解する細菌について」	ペットボトルなどの廃棄物を減少させるための科学的な方法について講演いただき、自然環境を保護することの大切さや多様な生命を尊重する精神について学んだ。 SDGsのテーマになぞらえ、様々な角度から、環境やいのちの大切さについて学ぶことができた。	慶應義塾大学 教授
38	神奈川県	高複合	特別活動	いのちの大切さと思いやりについて	将来の社会の担い手となる生徒たちに、「いのちの大切さ」や「他者への思いやり」などについて、校訓である「自重自恃」の精神に関連させながら、日常生活を自身の行動を振り返るための講話を行った。 担任の面談と併せて、改めて自己を顧みるよいきっかけとなった。	全校集会における校長講話

39	神奈川県	高複合	特別活動	災害図上訓練	<p>本校は河川に隣接しているため、大きな災害が起きた際は、水害に見舞われる可能性がある。災害図上訓練を通して危険な箇所を可視化することで、生徒の防災意識の向上を図った。班に分かれ、それぞれの班に地元の消防団の方々につき、多摩消防署の職員の指示を聞き、シールを貼ったり地図に書き込んでいったりした。学校周辺の危険箇所について発見があった生徒が多く、実際の場所を班員で話しながら確認の様子が見られた。</p> <p>また、可視化された情報の中で話し合うことで、災害発生時のシミュレーションを生徒同士が主体的に行う姿が目立った。最後に各班で発表を行い、それぞれの班で気付いたこと、災害発生時にいのちを守るためにしなければいけないことなどを共有した。</p>	<p>講師は、近隣の地理に詳しい多摩消防署の職員と、地元の消防団の方々。</p> <p>班分けをし、学校周辺の地図を活用することで、具体的なイメージを持つことができた。</p>
40	神奈川県	高2	特別活動	薬物乱用防止講演会	<p>薬物乱用を防止し心身ともに健康な高校生活を送るため、講演会を実施した。薬物乱用防止に取り組む特定非営利活動法人「日本ガーディアン・エンジェルス」を講師として招き、多くの事例から薬物乱用の恐ろしさを知ることにより、身の回りに潜む危険を回避して命を大切にすることを学んだ。</p>	<p>特定非営利活動法人「日本ガーディアン・エンジェルス」</p>
41	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育	<p>地域との連携・協力のもと生徒自らの安全と他者の安全にも貢献できるように実践的な防災訓練等を実施した。災害時の注意について全体講話を行い、その後消火訓練や応急手当、搬送訓練などを行うことにより、命を守る大切さを学ぶことができた。</p>	<p>地域消防署の協力を得て実施</p>
42	神奈川県	高複合	特別活動	国際理解教育「貧困、平和、人権問題など、地球規模の課題を考える」	<p>日本国内のことだけを考えていけば済むという時代ではなく、国際社会全体にかかわる、紛争・格差・貧困・人権などの諸問題について生徒が考える機会とした。昨年度の国際教育講演会後のアンケートで希望の多かった「貧困・平和・人権問題など、地球規模の課題を考える」をテーマに国外（ネパール）とオンラインで繋ぎ、講演会、質疑応答を行った。</p>	<p>全学年対象に実施。ネパールの国際理解講師による講演会を行い、質疑応答では生徒からさまざまな質問が出て、有意義な講演会となった。</p>
43	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育「DIG訓練」	<p>1学年では、ICTを活用し学校周辺の危険箇所や災害時に有用な施設等を地図等から探し出し、災害時の活動に役立つ知識を身に付けた。</p> <p>2学年では、「南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害と対策に係る映像資料」を参考に、自宅周辺の防災上危険な場所・役立つ施設・避難場所等を把握した。</p>	<p>1, 2学年対象に実施。(参考資料)内閣府HP「南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害と対策に係る映像資料」</p>
44	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止	<p>心身への影響や依存症や疾病との関連、社会への影響など、薬物乱用がもたらす恐ろしさを、多くの写真や実例を見ながら学んだ。薬物乱用は絶対にいけないことであることはわかっているにもかかわらず、あらためてその恐ろしさを目の当たりにし、驚く様子も見られた。生徒と教員のロールプレイングを行うことで、もし薬物に手を染めるような誘いがあった場合にどのように断るかを実演した。</p>	<p>講師は県立精神医療センター看護師</p>
45	神奈川県	高1	特別活動	交通安全	<p>さまざまなシチュエーションでの交通事故の事例をスタントマンによるスケアード・ストリート方式で学んだ。紙や映像ではなく、事故の衝撃などを直視することによって、あまりの衝撃に驚く様子が見られた。それと同時に、交通事故は決して他人事ではなく、命の尊さや交通事故の責任、交通ルールやマナーの重要性をあらためて認識させられる内容であった。</p>	<p>講師はシャドウスタントプロダクション職員</p>



46	神奈川県	高2	特別活動	修学旅行事前学習 広島原爆投下について考える	<p>広島方面の修学旅行の事前学習として、2学年のLHRで広島原爆投下について考える授業を2回に分けて行った。</p> <p>1回目は、NHKなどの映像資料を視聴させた後、Google Meetをつないで教員による講話を行い、生徒に原爆の悲惨さや平和の尊さについて考えさせた。</p> <p>2回目は、「『平和』は誰が創るもの？『私たち』は平和のために何ができるの？」という課題に答えるために、「若者は戦争についてどう考えている？」「G7広島サミットで平和構築は進んだ？」「戦争経験者の減少は何をもたらすだろう？」という問いを考えるための諸資料を読み取り、クラス全体で回答を導き出すジグソー活動を実施した。</p>	<p>教材：映像資料「“ヒロシマの声”がきこえますか～生まれ変わった原爆資料館～」、プリント</p>
47	神奈川県	高1	特別活動	性に関する講演会	<p>国士舘大学から講師を招き、性と性感染症、デートDV、性のあり方などについて、生徒一人ひとりが自分自身の「体と心」に向き合い、正しい知識のもと適切な行動選択と意思決定ができるようにすることを目的として、1年生を対象とする講演会を実施した。</p> <p>デートDV、月経・妊娠・避妊、性感染症をテーマとする動画を視聴し、それぞれの動画の内容に関連した寸劇を保健委員の生徒、本校教員、大学生に演じてもらい、生徒同士のペアワークを通して「科学的自己決定のあり方」について考えた。保健委員は、事前・事後に寸劇の練習をしたり保健だよりを作成したりして性に関する理解を深めた。</p>	<p>講師：国士舘大学文学部教育学科准教授 教材：動画、Googleフォーム</p>
48	神奈川県	高2	特別活動	生と性 健康教育講演会 「ふれあいの性・生殖の性」	<p>高校生にとって身近な問題である「性」について、科学的にとらえ、生殖の性、ふれあいの性について理解することにより、一人ひとりがより良く生きることを考える機会となった。</p> <p>また、妊婦体験では胎児の予想外の重さに驚いている生徒が多くみられた。階段の昇降も体験し、妊婦に対す思いやりの気持ちも芽生えたようである。</p>	<p>講師は、本校養護教諭が行った。 テレビにスライドを映しながら、視覚的にもわかりやすい内容にした。</p>
49	神奈川県	高1	特別活動	性感染症防止講座	<p>「多様化する性について学び、自他の心身の健康を守るために、個性を尊重した意思や行動の決定ができる態度を育成する」ことをテーマに、性の多様性、性感染症の予防意識、避妊の重要性などを講演していただいた。相手も自分も大切にすることの重要性や、心の悩みや不安、人間関係の問題を解消する考え方を、生徒にわかりやすく、興味を引く口調で説いていただき、生徒も大変熱心に講演を聞いていた。</p>	<p>講師：コミュニケーション講師・心理セラピスト</p>
50	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止講座	<p>「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成・確立を目指して、薬物乱用による心身への影響、依存症、疾病との関連、社会への影響などについての理解を通して、適切な行動選択と意思決定ができる資質と能力を身につける」ことをテーマに、薬物の危険性や依存症の怖さなどを性感染症防止講座と同じ講師の先生に講演していただいた。7月の講演会同様、生徒の興味を引く講演であり、大変有意義なものであった。</p>	<p>講師：コミュニケーション講師・心理セラピスト</p>



51	神奈川県	高複合	特別活動	性	<p>高校生にとって性は身近な存在である。思春期のころと性、HIV/AIDS、性感染症予防の内容について、講演会を実施した。生徒たちは、性感染症などの理解を深め、自身の健康の安全確保に努めるとともに、健康でいられることのありがたさやいのちの大切さを感じ取っていた。講師からの話の後には、積極的に質問をするなど、意欲的に参加していた。アンケートの結果、8割以上の生徒が内容を理解できたと回答していた。</p>	<p>ヘルスプロモーション推進センター代表 厚木市立病院泌尿器科</p>
52	神奈川県	高複合	特別活動	防災 (DIG) 研修	<p>本校防災担当職員の指導による、防災 (DIG) 研修を実施した。 12月8日 (金) に少人数の班をつくり研修資料 (地域地図・MISSIONNOTE・丸ドットシール・PC・まとめ用紙) に従い学習した。災害が実際に起こった際に、身の守り方を把握し学習することができた。</p>	<p>・講師は本校職員 ・「生徒会役員」「新聞委員会」「教職員」</p>
53	神奈川県	高2	特別活動	いのちの安全教育	<p>性に対する理解を深め、互いに尊重し合える関係性を築いていけることを目指し、講師を招いて「性的同意」に関する講演を行った。『幸せになるための性教育～きみと好きな人が100年続きますように～』と言うタイトルから始まり、避妊や人工妊娠中絶といった基礎的な知識に加え、女性の月経に関する話や性的同意のポイントに関する話などの講演を受け、「わたしの体はわたしのもの、あなたの体はあなたのもの」であり、相手のことを考えて行動することの重要性を学んだ。</p>	<p>講師：もんまレディースクリニック</p>
54	神奈川県	高1	特別活動	「性の健康」について	<p>健康教育の一環として、藤沢市保健所の協力のもと「性の健康」について講演をいただいた。 前半は基本的な男女の性の違いを認識し、その上で望まない妊娠を未然に防ぐための性に関する知識やスキルを学ぶことができた。 後半では人権やジェンダー観、性感染症について話をしていただき、性の多様性を含めた幅広い性に関する知識を高め、自己の心身の健康にどうつなげていくかを考える場となった。</p>	<p>(講師) 藤沢市保健所 保健予防課・健康づくり課保健師</p>
55	神奈川県	全学年	特別活動	喫煙防止講演会	<p>喫煙による健康被害について、また未成年者の喫煙が心身にもたらす様々な悪影響を学び、各自の健康維持増進に繋げた。同時に、依存症の恐ろしさを学ぶことで、喫煙防止教育とした。</p>	<p>(講師) 藤沢市保健所 健康づくり課保健師 (配付資料) スライドによる</p>
56	神奈川県	高2	特別活動	防災訓練けむり体験「災害からいのちを守る」	<p>本校では、生徒一人ひとりが、防災について自助・共助の意識をもち、災害時に起こり得る事態を自らが体験する機会を設けた。 2年生の生徒を対象に、防災訓練の一環として、消防署の協力を得てけむり体験を実施した。 この体験を通して、自らのいのちを守るために、どのような行動をとるべきか知り得る機会となった。</p>	<p>講師：藤沢北消防署員 教材：けむりマシンと潜り抜けるテント</p>

57	神奈川県	高2	特別活動	性に関する保健学習会	平成31年度からの4年間、妊娠に関する相談、性感染症に関する相談、交際相手との関係に関する相談が複数件あり、相談を通して①性に関する正しい知識をもっていないこと②将来の見通しをもっていないこと③相手の気持ちを考えることが難しいこと、といった課題が明らかになった。このことから、性感染症の最新の現状と性感染症がどのように拡散するか知り、性行動において相手を大切にすることの具体的な行動を考えることをねらいとして実施した。	養護教諭と教科担当によるTTで実施。保健委員が水の実験を行い、性感染症の拡散について模擬的に体験した。
58	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止教室	薬物を間違った方法で一度でも使用したら乱用であること、薬物乱用が違法であること、薬物乱用による心身と社会への影響などについて知り、ちょっとしたきっかけから始まる薬物乱用がかげがえのない人生を損なう危険性があることを理解することを目的として実施した。 DVDを視聴した後、生徒が講師に質問をしたり、警察官と生徒による薬物を断るロールプレイングをしたりして、薬物は自分の健康と豊かな人生を壊してしまうことを学んだ。	講師は藤沢北警察署の警察官とスクールサポーター。生徒が考えた通りに実践した後、警察官の助言を受けて模範のロールプレイングを全体へ示した。このことにより理解度が深まった。
59	神奈川県	高1	特別活動	骨髄移植に関するセミナー	骨髄移植は18歳から登録できるようになる。話を聞く前の生徒たちは骨髄移植に対して知らないことが多く、中には怖いイメージを持っている生徒もいた。神奈川県における骨髄移植バンク・ドナー登録者の現状や、なぜ登録が必要なのかという話を聞いたうえで、骨髄移植を実際に経験した方(提供経験者・移植経験者)からの話を聞いた。提供経験者の話を聞いたことで骨髄移植提供に対する恐怖心がなくなる生徒もいた。事後の感想文を分析すると、家族で話したり自分で調べたりする生徒が増えた。また、移植経験者の話を聞いたことで、18歳になったときにドナー登録をし、助かる命を助けられるようにしたいと登録に対して生徒が積極的に考えるようになった。	小田原白梅ライオンズクラブ神奈川骨髄移植を考える会 会長、第一副会長 骨髄提供経験者 骨髄移植の提供者・経験者両者の立場から話を聞くことで、骨髄移植に対して生徒が興味関心を持つようになった。
60	神奈川県	高複合	特別活動	エイズ・性感染症講演会	性感染症の予防を含め、思春期だけではなく各ライフステージに応じた性と妊娠・出産・子育てに係る正しい知識を学ぶとともに、実習を行うことで学びを実感させ意識を持たせることができた。また、相談・サポート機関の紹介を行うことにより、卒業後の切れ目のない健康支援を目指す取組が行われていることを学んだ。	小田原保健福祉事務所保健福祉課 保健師による講演
61	神奈川県	高複合	特別活動	津波想定避難訓練	想定される大地震後の津波に備え、生徒の安全確保に必要な垂直避難訓練及び津波避難施設(ビル)に指定されているため、地域と連携した災害時に速やかに対応できるように準備し、情報を共有した。	支援センター(障害者福祉作業所)から65名・自治会から4名の参加があった。
62	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育 浸水災害避難訓練	浸水災害時の垂直避難ならびに浸水災害時の対応について映像視聴し、様々なケースがあり、家庭での防災対策、浸水災害時の対応、ハザードマップの確認など、生徒の防災意識を向上させた。	全学年(1・2・3)
63	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育 防災火災図上訓練	地震災害により火災が発生したとき、本校から参集場所へ避難する方法や約束事、生徒自ら考え行動し最善となる方法を考えさせ、生徒の防災意識を向上させた。	全学年(1・2・3)

64	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全について	交通安全講話を実施し、過去に他であった具体的な交通事故の事例を挙げながら、自分たちがどのような点について気を付けて生活すれば良いかを「天候」、「時間」、「場所」などの視点から考える時間を持つことができた。また、今年度から改定された道路交通法の「自転車のヘルメット着用の義務化」、「特定小型原動機付自転車」について触れ、具体的な内容の理解を深めることができた。	全学年に実施
65	神奈川県	高複合	特別活動	健全な食生活の実現に向け、食に関する様々な知識と食を選択する判断力を身につける	「食の自立を目指して、食べ物のことを知ろう」というテーマで食育指導を実施した。知っていそうで意外と知らない食べ物に関するクイズを出題し、食に関する興味関心を高めさせることができた。生徒は周りの友達と相談しながらクイズの答えを考え、楽しく食べ物について知ることができたことで、ただ空腹を満たすだけの食事ではなく、心を満たす健全な食生活について考え理解を深めることができた。	全学年に実施
66	神奈川県	高複合	特別活動	性感染症予防講演会	産婦人科医師を講師として招き、「性教育を通して、自分もみんなも大切にして生きる」というテーマを設定し、若年層にも広がっている性感染症の実態や正しい避妊方法について学習した。具体的な事例や体験談を交えた講演で、多くの生徒が関心を示し傾聴していた。講演終了後に質疑応答、振り返りのアンケート記入を行い、学習内容を高めることができた。	講師：産婦人科医師
67	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教室	茅ヶ崎警察署から講師を招き、道路交通法の規定や自転車を安全に乗るルールなどを学んだ。スライドやDVDを見て、自転車の基本となるルールを確認し、交通事故の事例も交えながら自転車に乗る際の責任感を高めた。講演終了後に質疑応答を行い、学習内容を高めることができた。	講師： 茅ヶ崎警察署職員
68	神奈川県	高複合	特別活動	シェイクアウト訓練	令和5年8月28日（月）4校時 ・県内一斉の訓練に参加することによる防災意識の向上と、自らの身は自らで守るという「自助」の意識をしっかりと持てるようにする。 ・シェイクアウト訓練開始 ①まず低く、②頭を守り、③動かない の①～③を放送の指示に従い実施した。	・授業担当者は該当クラスの生徒等に異常がみられる場合は、職員室の管理職に報告する。 ・授業にあたっていない教職員は校舎の点検を行う。
69	神奈川県	高複合	特別活動	防災教育「地震・津波からいのちを守る」	LHRの時間を活用して、生徒に対して地震発生時にとるべき態勢の指示、避難誘導の具体的な経路の説明行ない、「いのち」を守るためにすべきことを考えた。 逗子市ハザードマップを用いて、地震により想定される津波の到達地点と到達までの所要時間に対し、周辺の地形や建物を確認しながら、自分がいる場所からどこへ避難するのが最も適切かというシミュレーション(DIG)をグループワークにより実施した。また、災害時に家族とどのように連絡をとるかについて確認した。	2年、3年 逗子市ハザードマップ なお、1年については「地理総合」の授業内で実施した。

70	神奈川県	高複合	特別活動	防災学習	<p>本校で火災発生を想定した避難訓練及び校内防災設備のハザードマップ作成を行った。避難訓練については、避難地の確認を全体で共有し、非常時に対する意識を高めることができた。校内防災設備のハザードマップ作成は、初期消火の重要性を正しく理解し、実際にどこに何があるかを記入、共有することでいのちを守るためのスキルアップにつながった。</p>	<p>自主作成したワークシートおよびスライドをもとに全学年対象実施。各学年の担当者（管理G）が講師役となった。</p>
71	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全講話	<p>交通安全に関する動画視聴とその解説を行った。特にドライバーの目線では歩行者や自転車が見えるのかをドライブレコーダーの映像を使用して解説した。実施後はGoogleFormによるアンケートを実施した。アンケートの結果、参加者のほぼ全員が、この講話が交通への意識・関心を高めるのに「（おおいに）役立った」と回答した。</p>	<p>ドライブレコーダーの映像と交通事故防止の啓発映像を教材とし、全学年を対象に実施。本校教諭（生活指導G）が講師役となった。</p>
72	神奈川県	高複合	特別活動	スケアードストレイト	<p>本校は自転車通学の生徒が多く、最寄りの駅から徒歩で通学している生徒もいる。近年自転車に関する交通ルールが改正され、周知、指導はしているが、依然、登下校中の自転車事故が発生している。今回は、実際の交通事故をスタントマンが目の前で再現することを通して、映像や講演ではつかみきれない臨場感を与え、交通ルールやマナーを守る大切さを再確認するとともに、子どもや高齢者等の安全を保障する意識を高めることを狙いとして実施した。</p> <p>生徒たちは、事故の様子を間近で見ることにより、貴重な経験になったと思われる。また、誰の身にも起こりそうな事例の実演であったため、自分事としてとらえ危険性を感じていたと考える。</p>	<p>講師：株式会社オフィスワイルド</p>
73	神奈川県	高複合	特別活動	いじめ	<p>いじめ、インターネット上での誹謗中傷、マイノリティに対する偏見・差別などこどもの人権をめぐる状況は一層深刻化している。そこで「相手も自分も大切にするコミュニケーション」をテーマとし、本校生徒1，2学年を対象に講演を行った。生徒たちは、人権問題を自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重し合うことの大切さを学び他人の人権にも配慮した行動をとれるようにさせた。</p>	<p>【講師】一般社団法人代表理事</p>
74	神奈川県	高1	特別活動	性感染症予防	<p>『いのちの授業 ～生命と性の健康教育～』をテーマとし、本校生徒1学年を対象に講演を行った。さまざまな事例やデータをもとに、生命の尊さについて理解し、生命・性(性感染症予防等)について学んだ。また、自分自身と相手の体を大切にするために必要な知識を学び、生涯にわたって自他ともに思いやることの大切さについて再認識した。</p>	<p>【講師】医療系大学看護学科教授</p>
75	神奈川県	高複合	特別活動	いじめ	<p>いじめ、インターネット上での誹謗中傷、マイノリティに対する偏見・差別などこどもの人権をめぐる状況は一層深刻化している。そこで「相手も自分も大切にするコミュニケーション」をテーマとし、本校生徒1，2学年を対象に講演を行った。生徒たちは、人権問題を自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重し合うことの大切さを学び他人の人権にも配慮した行動をとれるようにさせた。</p>	<p>【講師】一般社団法人代表理事</p>

76	神奈川県	高1	特別活動	性感染症予防	『いのちの授業 ～生命と性の健康教育～』をテーマとし、本校生徒1学年を対象に講演を行った。さまざまな事例やデータをもとに、生命の尊さについて理解し、生命・性(性感染症予防等)について学んだ。また、自分自身と相手の体を大切にするために必要な知識を学び、生涯にわたって自他ともに思いやることの大切さについて再認識した。	【講師】 医療系大学看護学科教授
77	神奈川県	高1	特別活動	生きるとはどういうことか	東日本大震災時、中学生であった講師が実際に見たこと・感じたこと・体験したことを自身の言葉で語っていただく。	講師 本校地歴公民科教諭
78	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練 「火災からいのちを守る」	今回の訓練では火災発生時に適切な行動を取れるよう煙や非常ベルの音など、火災発生時と同じような状況を再現し実施した。また、火災の発生場所を予め伝えることなく実施し、避難経路についても自身で考え避難することとした。その中で、パニックに陥らず、自身のいのちを守るためには、どのように行動すべきかを学習した。避難終了後に消防署の方より、講評をいただいた。	対象は1・2・3学年 及び分教室の生徒
79	神奈川県	高複合	特別活動	交通安全教育	歩行者および車両（特に二輪車）に関する安全教育を講話形式で行い、生徒たちが事故に対する恐怖や自分たちの危険行為を認識することを目指した。 そして、交通安全に対する意識を高め、自らのいのちや他者のいのちを守る行動を行うよう啓発した。	神奈川県警伊勢原警察署交通総務課に講師を依頼
80	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	地震発生からの火災発生を想定した訓練を実施した。 地震発生とともにシェイクアウトを実施、調理室からの火災発生を想定し授業担当者の誘導による避難を行った。 併せて校舎内に取り残された者の救出訓練も行い、最後に伊勢原消防署からの講評で終了とした。	伊勢原消防署に講評を依頼
81	神奈川県	高複合	特別活動	防災避難訓練	地震及び火災発生時にまず自分の身を守り、避難場所に安全かつ迅速に移動できるよう訓練を行うとともに、火災による煙の中を避難する耐煙体験を行い、火災の中で冷静に避難できるよう訓練を行った。また消防署職員による講話を聞き、防災意識を高めた。	講師：消防署職員 対象：全校生徒
82	神奈川県	高1	特別活動	残された家族に向けて	クラス担任が病気で亡くなられ、クラスの生徒たちが精神的に不安定な状態になりながらも生徒たちからクラス担任の家族に向けてどんな先生だったかを伝えたいと要望が出てきました。 生徒たちと話し合いをもつ中で、個々の生徒が担任に向けてのメッセージを書き、アルバムしたものとクラスで合唱をおこないその様子を動画にしたものを、ご家族に渡したいと考えました。 アルバムづくりと合唱練習をおこなうことで人が亡くなるということがどれだけ周りの人が悲しむのかを考え、自他のいのちの大切さを学ぶ。	教諭

83	神奈川県	高複合	特別活動	農業高校だからこそできる「フードバンク活動」	本校、農業クラブ本部では生徒会と協力し、フードバンク活動を行っている。不要となった防災保存食や校内に回収ボックスを設置し、全校生徒や教員から家庭で不要となった日用品や文房具を回収し、連携する県内のNPO法人へ物資の寄贈及び運営ボランティアとして参加している。また、実習等で栽培した規格外品の野菜などをフードバンク会場へ生徒自ら、寄贈することで生活困窮者やひとり親の子どもたちへ支援することができた。さらに活動を知った地域行政との連携が始まり、活動の幅が徐々に広がっている。	(中央農業高校) ・農業クラブ本部 ・生徒会 (外部) ・フードバンク横浜 ・海老名市役所
84	神奈川県	高3	特別活動	農福連携活動	隣接する支援学校と連携した活動を行った。科目「課題研究」では家畜のふれあい体験、水田では田植えから稲刈りまで体験を行い、いのちや食について理解を深めた。野菜栽培では子どもたち自ら、高校生とともに収穫体験を行い、地域のコミュニティ誌にも紹介された。また、科目「福祉と農業」では支援学校へ出向き、障がいについて学ぶことでインクルーシブ教育への理解を深めた。交流活動では高校生自ら講師役となり、花や野菜を栽培した。	(中央農業高校) ・高校3年生 (えびな支援学校) ・小学部 ・高等部
85	神奈川県	高1	特別活動	交通安全教室	神奈川県警察本部より、交通安全担当の方にお越しいただいて1年生対象に講演を行っていただいた。自分の命を守るために大切なこと、他の人の命を守るために大切なことを、交通ルールや自転車の乗り方を通して学んだ。オンラインでの配信で行ったが、生徒は皆真面目に視聴し、普段の生活や身の回りに常に危険があることを確認し、安全に夏休みを迎えることができた。	講師は、神奈川県警本部の職員。 パワーポイントを使用し、具体的なイメージをもって効果的に学ぶことができた。
86	神奈川県	高1	特別活動	防災体験訓練	地震についての講話、起震車体験、消火体験、煙ハウス体験、心肺蘇生法・AEDの取り扱いを実施した。災害が、いつ起きてもおかしくない状況を自分のことと捉え、防災意識を高める機会となった。熊本や東北の震災の話の折りには、友人や家族の命の安否確認方法について会話をする姿が見られた。	海老名市役所(4名) 海老名消防署(15名)
87	神奈川県	高複合	特別活動	インターネット・SNS犯罪防止講演会	インターネット・SNSにおけるトラブルや犯罪事例を知り、法律・マナーを守った活用方法を理解する。軽い気持ちで投稿した内容が人権侵害やいのちに関わるような大きな事案に発展し得ることを改めて考える機会となった。情報化社会が進む今日、インターネット・SNSを使用する機会が増加する中で、それらの適切な使用方法を再認識することができた。	海老名警察署生活安全課防犯少年係 スクールサポーター
88	神奈川県	高複合	特別活動	防災訓練	生徒が主体となり防災訓練を企画、実施した。目標としたのは「正しい知識を行動に起こして命を守ること。評価基準としたのは「第三者に避難方法を説明できるか」「正確な判断を基に行動を起こすことができたか」であった。発災時に起こりうる様々な想定を事前にシミュレーションし、全生徒が訓練の中で、地震と同時に起こる火災や負傷者の救護の実践、余震の対処法などを通して、発災時の実践力を高めた。また、生徒自らが制作した映像による事前学習や訓練後の職員からの講話を通して、自他の生命を尊重する態度を育むことができた。	防災委員会の生徒が中心となり、約半年かけて、生徒主体の防災訓練を企画、実施した。 重症の人体模型を配置したり、崩落により使用できない通路を作って避難経路を複雑にするなど、生徒の発案による工夫を盛り込んで実施した。

89	神奈川県	高1	特別活動	性教育講座	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性感染症について</li> <li>・LGBTQについて</li> <li>・性被害について</li> <li>・人工妊娠中絶・緊急避妊薬について など</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室において、リモート形式で講演</li> </ul> <p>【生徒の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性(命)の大切さについて真剣に受け止めていた。</li> <li>・アンケートから自分や相手を大切にすることの大切さ、一人で問題を抱え込まないことが理解されていた。</li> </ul>	<p>【教材等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・アンケート など</li> </ul>
90	神奈川県	高1	特別活動	「いのちの授業」	神奈川県警と神奈川県被害者支援センターが作成した、「1ニュートンの勇気」を視聴し、解説や振り返りを通じて、自他の命の大切さについて学ぶ。	神奈川県被害者支援センター・VTR「1ニュートンの勇気」
91	神奈川県	高2	特別活動	「いのちの授業」	神奈川県警と神奈川県被害者支援センターが作成した、「1ニュートンの勇気」を視聴し、解説や振り返りを通じて、自他の命の大切さについて学ぶ。	神奈川県被害者支援センター・VTR「1ニュートンの勇気」
92	神奈川県	高複合	特別活動	防災講演会	大磯高校周辺の地形や歴史について、映像資料を用いて講演を行い、地震及び津波対策について生徒に分かりやすい言葉で伝えた。 また、様々な情報があふれる時代において、正しい知識を持つことの重要性、在校時及び登下校時での地震・津波対策について、主体的に考える機会となった。	高2・高1対象 講師 本校 理科教諭
93	神奈川県	高1	特別活動	薬物乱用防止講座	薬物について正しい知識を身に付けおらず、大麻・合法ドラッグ等は身近な存在となり、若者たちに深刻な健康被害が生じている、また薬品の大量摂取による健康被害なども報道されていることから、その影響と防止策について、大磯警察署の協力により分かりやすく講演をいただき、命の大切さを学ぶことができた。	大磯警察署 生活安全課
94	神奈川県	高1	特別活動	性に関する講演会（相手と自分を大切にしているって？）	性感染症の予防や避妊など性に関する知識をパワーポイントを見ながら学び、自分自身や周りの人を大切に、正しい行動をとることができるよう促す内容の講義であった。	講師：産婦人科医
95	神奈川県	高複合	特別活動	薬物乱用防止について	動画視聴による「薬物乱用防止講演会」を体育館で行った。薬物の過剰摂取による深刻な身体的影響、命を落とす危険性、自殺の可能性等、体験者により薬物利用がもたらすいのちへの危険性が語られた。講演後、講演の感想を問うアンケートを実施し、生徒から「薬物の怖さ」「心身・命への危険性」「家庭や将来への影響」等を認識するコメントが寄せられた。	講師：大磯警察署 対象：高校1・2年



96	神奈川県	高複合	特別活動	自分の人生を大切に自分らしく生きていくために	<p>「性」とは「心」と「生」を合わせた心の在り方をあらわす文字である。思春期とは体の成長とともに成長し、心の悩みが多い時期であり、自分のことも他人のこともいじめたくなることもある。そんな中で性交渉をしてしまい、性感染症に感染することもある。思春期の終わりには両極端な気持ちではなく、中間があるということがわかってくる。</p> <p>今の自分を大切にすることが将来の自分を守ることになる。</p> <p>講師の語り口が非常にわかりやすく、また親しみやすいものであったこともあり、自分たちに置き換えて考えることができた生徒もいた。</p>	講師は東京医療保健大学の教授。パワーポイントや映像を活用することで具体的なイメージを持つことができた。
97	神奈川県	高2	特別活動	防災教育 「地震からいのちを守る」	<p>熊本県にある震災ミュージアムにて、地震での災害について学んだ。震災遺構である大学のキャンパスを見学することで、災害の大きさを肌で感じた。また、地震を引き起こす活断層について学習することで、自分が住んでいる地域での断層を考える機会となり、地震に備える心構えを身に付けた。</p>	南阿蘇村防災教育プログラム『南阿蘇からはじまるミライハンドブック』